

小学生が日本の予算を考える！

～知念小学校を訪問して～

4月30日、南城市立知念小学校の6年生（2クラス）を対象に、「財政教育プログラム授業」を開催しました。

授業の開催にあたっては、学校側と連携し職員の派遣を最小人員に抑えるなど、コロナ感染症対策を徹底して取り組みました。



財務部職員による財政授業の様子

（自分の将来のために）
財政について考える

授業の前半は、「（自分の将来のために）財政について考える」と題し、身近な公共サービスや公共施設を紹介しました。またこれらを支えるための会費として税金や保険料が必要であることについて、クイズを交えながら説明しました。



タブレット端末を使用して予算編成する児童

予算編成シミュレーション

授業の後半は「GIGAスクール構想」で教育現場に導入されたタブレット端末を使用しグループワークによる「日本村」（現在の日本をコンパクトにした仮想の村）の予算編成に取り組みました。「日本村」の未来をよりくするため、社会保障費などの歳出は、どの分野を充実させ、又は抑制させればよいか、その一方で消費税などの歳入をどのように確保しバランスを取ればよいかなど、児童達は活発に意見を交わしていました。

授業の最後には、グループ毎に編成した予算とその考えを発表してもらいました。児童達の純粋、かつ、想像力豊かな発表に財務部職員も刺激を受けると共に、元気をもらうことができました。

児童達からの声

児童達からは、「事前学習の時には分からなかった事も授業を通じて分かることが出来た。」「予算を増やしたいけど、その裏には税金など歳入を考えなければならぬので難しかった。」などの感想がありました。



編成した予算を電子黒板に投映して発表する児童

財務部では、今後も教育機関と連携し、若年層向けに出張授業を実施していく予定です。

お問合せ先

財務部 財務課（広報担当）

☎ 098-866-0091